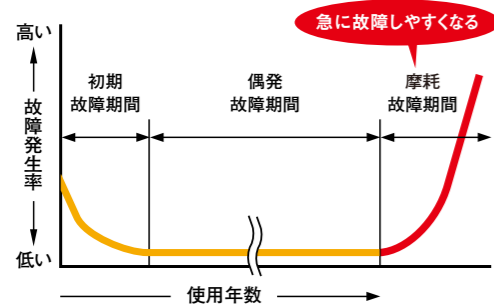


放送・音響設備は 徐々に老朽化していきます。

■経年変化で運用に支障がでます。

長期間のご使用の場合、機器が老朽化しさまざまな箇所での劣化が進行します。徐々に製造時の性能を発揮できなくなり、日常の運用、更にいざという時の運用に大きな支障をきたします。

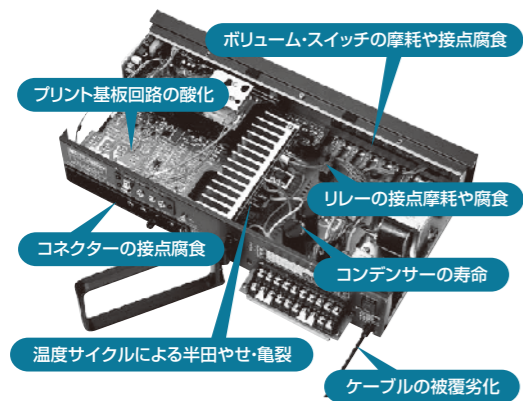
■故障率曲線(バスタブカーブ)



■部品にも寿命があります。

各設備機器の中に使用されている電気部品や機構部品は、一般の電気機器と同様に設置後の時間経過とともに劣化・磨耗が進行し、いつ寿命が尽きるがわかりません。

■例えばニューハイパワーアンプでは……



■補修部品の供給ができなくなります。

本体の生産終了後、パナソニックではお客様のために最長で7年間、補修部品を保有していますが、この期間を過ぎると供給が困難となり、修理ができなくなる可能性があります。

これらの設備機器を
お使いではありませんか？
安心・安全のために、
いますぐご確認をお願いします。

非常用放送設備

これらの商品は、ご使用から35年以上経過しています。平成6年の消防法改正にも未対応です。



38年以上使用
WK-600シリーズ
1983年生産完了



48年以上使用
WL-5090 / 5590シリーズ
1973年生産完了



37年以上使用
WL-6000 / 6500シリーズ
1984年生産完了

非常用放送設備用蓄電池

鉛蓄電池やニッケルカドミウム電池の一部には代替品がないものもあります。



音響設備

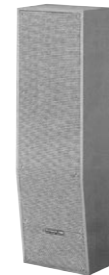
これらの商品は、長期使用されています。経年劣化で正常に動作しないことや補修部品の供給ができなくなっています。



WA-20
1986年生産完了



WT-715
1991年生産完了



WS-905
1988年生産完了



WS-3250
1999年生産完了

より安心・安全な最新設備への 更新をご検討ください。

非常放送設備

音声警報機能付非常用放送設備では、安全性が一段と進化しました。

よりの確な避難誘導のため、平成6年1月に消防法施行規則および非常警報設備基準の一部改正がおこなわれ、サイレン式から「音声警報機能付」非常用放送設備の基準が設けられました。

音声警報機能

- サイレン式ではわからなかった火災の発生場所を自動放送で知らせます。
- いきなり脅迫的なサイレンが鳴るのではなく、パニックに配慮して段階的に音声で知らせます。
- 管理者が対応に追われている場合でも正確な情報を自動的に放送できます。

パナソニックの非常用放送設備は、消防法改正の緊急地震放送に対応しています。

緊急地震速報に対応した消防法改正に適合しています。緊急地震速報受信端末を接続することにより、緊急地震放送が優先して行えます。

緊急事態を的確に伝達する安心の機能

- 火災発生以外の緊急事態に、スイッチ操作ひとつで緊急メッセージやマイク放送ができます。
- 緊急放送時に、ローカル放送を停止させることができます。

緊急放送機能を搭載
操作性が格段に向上
多彩なメッセージを内蔵



写真はWK-EK320です。
WK-EK300シリーズ



WL-8000Aシリーズ

音響設備

屋外スピーカー

様々なシーンでクリアな屋外拡声に対応
屋外対応スピーカー

新開発の高音質スピーカーユニットを採用。角度調整しやすい付属金具により、競技場、運動公園、講堂の放送など、様々なシーンで活用できるスピーカーです。IPX4の優れた防水性能、入力切替(3段階など)に対応しています。



WS-BW120



WS-LB311

屋外スピーカー

屋外での近隣騒音に配慮して選べる
クリアホーン

- WT-7006 (6 W)
- WT-7015 (15 W)
- WT-7030 (30 W)



写真はWT-7015です。

アンプ

拡声スペースに応じて選べる
卓上型デジタルアンプ

- WA-HA031 (30 W)
- WA-HA061 (60 W)
- WA-HA121 (120 W)



写真はWA-HA121です。